

八峰町12月議会定例会



行政報告を お知らせします

八峰町12月議会定例会が14日から16日までの会期で開かれ、行政報告や一般質問、補正予算の議案審議などが行われました。

行政報告の中から主なものをお知らせします。

秋の行政協力員会議

11月28日、峰栄館において開催し、各自治会から出された側溝の改良やアーバンミラーの設置、町道の補修などの要望29件について、それぞれ町の考え方をお出しし意見交換を行いました。住民の皆様が快適に暮らせるよう、すぐ実施できるものは早急に改善することし、その他の要望についても、実施可能なものはその実施時期などを地元自治会と協議しながら取り組んでまいりたいと考えています。

また、自主防災組織について、組織の立ち上げおよび防災活動に要する経費への助成制度を説明しながら、自治会での自主防災組織設置に向けてご協力をお願いしたところであります。

新型コロナワクチン接種事業の進捗状況

国は、重症化予防のために、4回目接種を3回目接種から5ヶ月以上経過した60歳以上全員と18歳から59歳で基礎疾患のある人などを対象としていましたが、全国的な感染拡大を受け、現在は、変異株「オミクロン株」に対応したワクチンによる接種の対象を、2回目接種を完了した12歳以上全員に対する象を拡大し、10月からは、接種間隔を前回の接種から3ヶ月に短縮して、年内での接種を推奨しております。

12月議会定例会に 提出した主な議案

八峰町印鑑登録条例の一部を改正する条例制定について

八峰町手数料条例の一部を改正する条例制定について

令和4年度八峰町一般会計補正予算

八峰町印鑑登録条例の一部を改正する条例制定について

八峰町手数料条例の一部を改正する条例制定について

令和4年度八峰町一般会計補正予算

八峰町介護保険事業

令和4年度名事業会計補正予算

八峰町簡易水道

48万5千円を減額

この事業所が運営を開始したことにより、相談支援体制の充実・強化が図られ、障がい者やその家族との相談に、ワンストップでの対応が可能となりましたので、今後は、緊急時の対応や体験機会の場の提供を一體的に行える支援体制を目指し、乳幼児から高齢期まで、地域のニーズに応える一翼を担つていただけるものと期待しております。

この協定は、八峰町におけるサーモン養殖事業の可能性を調査し、事業実現に向けて相互に協力し、水産業の振興と地域の活性化に寄与することを目的としております。

町といたしましては、この協定が、八峰町における大規模サーモン養殖事業実現に向けた大きな一步になるものと考えており、将来的に、漁業収入の安定と向上が図られ、若い漁業者の就業につながり、八峰町の水産業に希望の光をもたらすものと大いに期待を抱いております。

また、今年度、岩館漁港内で八水株式会社が実施するサーモン試験養殖事

業については、昨年の2倍となる1,000尾の養殖を計画しており、12月20日頃に稚魚の網入れを予定しております。

第17回八峰町文化祭

10月29日から3日間、ファガスと峰栄館で行われた展示部門には、書道、絵画、俳句、写真、生け花、手芸作品など、前回より増の、1,452点の出品があり、3日間で700名を超える方が訪れ、作品を鑑賞していただきました。

一方、10月30日に八峰中学校体育館で開催された芸能発表では、中学生によるパフォーマンスで始まり、合唱、和太鼓、踊り、大正琴、コーラスなど14演目、171名の方々が出演し、日頃の練習や学習の成果を発表しました。また、芸能発表に先立ち、「第9回あきた白神子ども俳画大会」表彰式を行いました。県内の小学校を対象に作品を募集したところ、町内2校を含む4校から168点の応募があり、審査の結果、町長賞、議會議長賞、教育長賞、審査委員長賞など16点が入賞し、当日出席された13名を表彰しております。

なお、応募された全作品は、文化祭期間中、ファガスおよび峰栄館に展示し、多くの方から鑑賞していただきま

スポーツイベント

10月16日、大仙市を会場に「第9回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン!」が開催されました。当市は直前に選手がコロナ感染症濃厚接触者になってしまったため、棄権する区間ができたため、記録が残らないオーブン参加となりました。

櫻はつながりませんでしたが、町の代表として、見事な走りを見せてくださいました選手の皆様、サポートしてくれださった保護者の皆様、そして指導に当たってくださいました監督やコーチに感謝申し上げます。

また、10月10日の体育の日には、「第15回シーサイドロードレース大会」を開催しておりましたが、直前に八峰中学校でコロナ感染症が拡大し、中学生の参加を急遽取りやめることにしたことは、当日、警報級の悪天候が予想されしたことから、前日に中止を決定いたしました。参加申し込みをいたただき、開催を楽しみにされておりました皆様方にはご迷惑をおかけし、大変申し訳なく思っております。

国は、令和3年度から5年度までに、いずれにしましても、ワクチン接種による重症化予防が、一番の目的でありますので、町民の皆様から接種に対する理解を頂きながら、人流が活発となる年末年始までに接種率が向上するよう、引き続き、接種に向けた取り組みを継続してまいります。

これを受け、町では、昨年度策定した八峰町第6期障がい福祉・第2期障がい児福祉計画に「地域生活支援拠点事業所」を「第6期障がい福祉計画」の策定時に、各市町村もしくは、圏域に1つ以上確保するよう求めております。

地域生活支援拠点事業所の開設

八田ルートが156人、岩館・目名潟ルートが795人、海岸沿いの岩館・目名潟・本館ルートが529人となっています。また、デマンド型乗合有償運送の10月と11月の2カ月間の利用状況につきましては、いずれも延べ人数ですが、10月は41人、11月は50人となっていました。1カ月当たりの延べ利用者数は976人となっています。

今後も利用者の声を大事にし、利便性の改善に努めてまいります。